

平成 27 年 7 月 28 日

佐々木大輔

## 基本構想素案・及び基本計画骨子案への意見

### 1.基本構想素案（資料 1）

ページ	意見
9	主要プロジェクトの横断的な体制の具体的なイメージを示してほしいです。横断的な取り組みを推進する責任の所在も明確にしてください。特に、産業と教育の連携は今後必要不可欠です。
9	重点項目のまず初めに「雇用の確保」があるのは良いと思います。

### 2.健康福祉部門（資料 2-1）

ページ	意見
5	「④こころの健康づくりの推進」は目標設定をしてほしいです。現状認識もしたい。そして、主な事業の内容が具体的にイメージできません。伝わるような表記をしてください。
7	「②ゆとりある子育てへの支援」について、大家族の推進をしてほしいです。多世代での暮らしは育児の負担も減り、空き家問題の解消（地域の持続）にも繋がります。また、育児について職場の理解を促す「認証制度」などの仕組みも検討されてはいかがでしょうか。
7	「③安心・安全な子育て環境の整備」の目標値は、各自治区に 1 つずつ、計 5 施設にできませんか？
8	「①生涯現役のまちづくり」について、高度シルバー人材を活用する仕組みがほしい。
11	「②共に生きるバリアフリー社会の実現」の目標値について、手話だけでなく、介助者やハード面での目標設定はできませんか？
12	「①地域の支え合い活動の推進と支援」団体所属の人数も目標値に入れてみては？

### 3.教育・文化部門（資料 2-2）

ページ	意見
2	「①生きる力の育成」について、民間企業の活用をし、社会との繋がりを意識させる活動をしてほしい。目標設定はまずは活動件数で。
4	「①ふるさと郷育の推進」について、協力的な企業についても数の確認が必要。
	「③多様な図書館サービスの充実」について、市政に沿った選書をしてほしい。

	産業振興に直結するような書籍の充実と、電子書籍化。充実してくれば、有料サービスでの展開も可能。
9	「⑥地域文化の交流拠点作り」について、警察跡地を利用してはどうか。郷土資料館のリニューアルという位置づけであれば意味があると思う。天守閣の復元は大反対です。

#### 4.産業経済部門（資料 2-4）

ページ	意見
1	市民意識の改革ということで、市民が皆「宣伝部長」という自覚を持てる工夫を。
1	浜田市の企業・産業を、市民や、市外に PR する仕組みが必要。採用活動（定住支援）や販路拡大のため。
1	産業体験の分野を、農林業以外にも広げる。学校での社会科見学も増やす。
2	農林業の施策として、生産と販売の体制を一本化（行政を含めて）してほしい。分断されたままでは他の地域に勝てない。
6	水産業については後継者の確保を本気で取り組んでいるという話を聞いたことがありません。UI ターン者へのアプローチも必要ですが、まずは水高生への働きかけを優先すべきと思います。
8	「中小企業イノベーション支援事業」は研究・施策などした際の『直接人件費』が含まれないため利用がし辛いです。使える事業を増やすか見直すかをして頂きたい。
9	「②商業・サービス業の振興」について、目標値は「域外マネー獲得高」を追加してほしい。
9	「③産業を支える人材育成」について、雇用推進協議会事業は人材育成にはあたらないと思います。県や協会・財団などには人材育成の支援事業がありますが、浜田市にはまだ無いのでしょうか？
9	創業・起業に関する教育は中学生くらいからすべきです。また、チャレンジしやすい環境、失敗しても立ち直りが早い環境作りを推進してください。
10	開廃業の目標値はこれで本当に良いのですか？開業を増やし、廃業を減らす、という数字になるのではないのでしょうか？
11	輸出先の割合としてロシアが最も多いのであれば、ロシアの経済や文化の理解を促す取り組みをもっと行っても良いのでは。
12	ロシアを含め、貿易相手国の市場動向を知りたい。思わぬビジネスが生まれる可能性がある。
13	日本版 DMO を他の自治体に先駆けて導入を。DMO は自治体の最前線で活躍するセールスマンであり、地域の素材を繋げるパイプ役になり得る。

13	観光客数の目標設定を。250万人。
15	企業誘致の視察ツアーの開催を。
15	東京、大阪に企業誘致（兼、定住支援、販路拡大）の窓口を。

#### 5.生活基盤部門（資料 2-5）

ページ	意見
1	通信網の整備を。中山間地域の主要な施設や廃校に NTT の光回線網を。
10	「②快適な生活環境づくりに向けた下水道の整備」について、目標値を、河川の水質検査結果を追加してほしい。特に唐鐘川の水質の悪さ（悪臭）は、海水浴場や畳ヶ浦の観光客にも悪影響が出ている。
11	「④まちづくりの基本である地籍の明確化」について、目標値は%で設定してほしい。

#### 6.防災・防犯・消防部門（資料 2-6）

ページ	意見
5	目標値の「防犯出前講座の開催」の目標値が少ない。全自治区、全世帯への啓発活動をするのであれば、年間 100 回以上は必要では？

#### 7.地域振興部門（資料 2-7）

ページ	意見
3	施設利用の推進施策を。施設利用状況の目標設定をしてほしい。
4	現代の日本における人権問題とは、家柄や親の職業、片親、経済格差、障害、病気、在日、外国籍、アイヌ、孤児、LGBT、人身売買、など、対象は多岐にわたります。「同和問題」だけを特筆している意図が理解できません。バランスを欠いています。特筆する表現を削除するか、それ以外の問題についても同様に取り扱いってください。
8	共同参画の実現を評価する指標が参加率では目的を果たせないと思います。行政・民間を含めた、管理職への登用率、または女性経営者の割合などが分かりやすい指標になるのではないのでしょうか。
9	市民（特に保護者）の意識改革が急務だと思います。子供は都会に出したい、帰ってきてほしいけど子供がかわいそう、と思っている親は非常に多いです。現代では、多くの学びは都会ではなく地方（または海外）にあります。浜田には可能性に満ちた地域であることを伝える施策をお願いします。
9	定住相談件数の目標値が低いです。移住希望者に必ず利用される定住窓口を目指し、目標値は転入者数の 80%超を目指すようにしてください。

10	定住支援の窓口は分かり辛く使いにくいです。移住者を中心とした行政サービスを徹底してください。利用の曜日や時間帯、盆・正月も休まず営業するなど。
10	空き家を積極的に利用したい人は少数派だと思います。県外（都市部）からの移住者がいきなり空き家（中古の戸建物件）を利用した場合、半年後くらいにその手入れの負担感から土地を離れる可能性が高いです。それよりも、市内の賃貸物件の相場を下げる施策、もしくは一定期間の家賃補助（せめて江津・益田の相場に見劣りしないくらい低く）など、定着を促す形で不動産の支援をお願いします。目標値には、転入者の定着率を加えて頂きたいと思います。また、不動産の物件情報が遠隔地からも確認できるよう WEB サイトの構築をしてください。
10	UI ターン者数の目標値が少なすぎます。これで社会増を目指せるのでしょうか？大幅な見直しをお願いします。
10	転入者への仕事のあっせんは、窓口の人が専門性をもって対応して頂きたいです。たとえば、職安の相談員のようなスキルを持つ人の配置や職員の教育など、責任を持ったコーディネートをしてほしいです。
10	東京、大阪への定住支援窓口（兼、販路拡大や企業誘致の拠点）の設置をしてほしい。
10	転入者に対しては、1年間程度は専用の相談窓口を設けてほしい。
10	転出・転入者に対するアンケートの実施をお願いします。特に目的や理由をの傾向を知りたいです。